

## 【緑区】令和3年第2回区づくり推進横浜市議会議員会議 議事録

開催日時	令和3年6月11日 午後3時00分 ～ 午後4時00分
場 所	緑区役所4階 会議室4AB（議員はリモートで出席）
出席者	<p>【座 長】高橋正治 議員</p> <p>【議員：3名】鴨志田啓介 議員、今野典人 議員、斉藤達也 議員</p> <p>【緑区：17名】岡田展生 区長、河村義秀 副区長</p> <p>室谷洋一 福祉保健センター長</p> <p>萩原健司 福祉保健センター担当部長</p> <p>新田巧 緑土木事務所長、齋藤優子 担当部長（緑図書館長）</p> <p>ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和3年度 緑区運営方針</p> <p>2 緑区に係る予算のすがた</p> <p>3 令和3年度 個性ある区づくり推進費 執行状況</p>
発言の 要 旨	<p><b>議題1 令和3年度 緑区運営方針</b> （区長説明）</p> <p>斉藤議員：地域ではお祭りを待望している声が多数聞かれるが、緑区民まつりについて、どんな議論を区役所内でされているのか。</p> <p>岡田区長：地域の方も入っていただき、区民まつり実行委員会を開催しました。今の段階では、どんな形で開催できるかを検討していく状況で、遅くとも8月中旬頃には決めたいと考えています。</p> <p>斉藤議員：簡単に中止ではなく、どうやったらできるかを議論していただき、ウィズコロナ、アフターコロナで元気をお互いにいただけるような関係を作っていければ、運営方針の実現が近くなると思う。</p> <p>鴨志田議員：区役所の業務におけるペーパーレス化、オンライン会議の活用、押印・署名の見直し、窓口申請のデジタル化の状況について説明いただきたい。</p> <p>岡田区長：ペーパーレス化については、週1回の部課長会で、自身のパソコンを会議室に持ち寄り、ペーパーレスで行っています。オンライン会議については、区役所と市庁舎との間で行う各種会議のほか、地域の皆様との会議でも、徐々にオンライン化を進めています。押印等の見直しについては、横浜市全体で押印の廃止を進めていますので、区役所もその方向性の中で行っています。窓口申請のデジタル化については、戸籍課で発行する転出証明をアプリで申請できるようになるなど、徐々に進んでいます。</p>

鴨志田議員：区民向けのイベント、会議、研修なども区民の方々がオンライン上で参加できる状況か。

岡田区長：今は過渡期であり、オンラインと対面を合わせて行っています。今後、ICTを活用した技術の進展により、使いやすくなっていくことで、オンラインにシフトしていくと考えます。

鴨志田議員：コロナ禍で、LINEグループによる情報共有などを積極的に行う高齢者も増えてきたので、様々なイベントをオンライン化して、積極的に使っていただくことも大切だと思う。

今野議員：コロナ禍において、出勤率の状況や出勤率を下げる取組はどのようなものか。

齋藤総務課長：区役所としては、まずは必要な窓口の人数が揃っていることが第一です。住民サービスの低下を招かぬよう、各所属長が窓口の必要人数を確保しつつ、テレワークやフレックス勤務など、柔軟な体制を取っています。出勤率については、年度開始から間もないためまだ集計していませんが、日々の対応の中で密にならない職場環境を築いています。

## **議題2 緑区に係る予算のすがた**

(区長説明)

## **議題3 令和3年度 個性ある区づくり推進費 執行状況**

(区長、副区長説明)

### **【1 災害に強いまちづくり事業】**

齊藤議員：新型コロナウイルス感染症対策事業で、各拠点に簡易型のテント6基、ベッド2基購入とある。これでは足りないと思うが、今後拡充していくのか。

岡田区長：今回は具合が悪い方などを分け替えるために購入するものです。予算と保管場所等の現場の状況を見極めながら、数を増やしていきたいと考えています。

### **【4 交通安全施設等整備事業】**

齊藤議員：スクールゾーン協議会等の開催は苦慮されていると思うが、意見集約はしっかりやっていただきたい。

川口緑土木事務所副所長：今年度のスクールゾーン協議会は、16校中2校が開催し、14校は書面開催します。各校から出た要望を確認し、

できること・できないことをしっかり検討して進めていきたいと考えています。

今野議員：地域の方が歩行中に、標識や電柱、バスの停留所が置いてあるのが邪魔だという話をいただいた。そのような要望に対し、調整を今後進めていただきたいが、どうか。

川口緑土木事務所副所長：基本的には施設の管理者が異なるため、全てを調整するのは難しい面もありますが、歩行者の方が歩きづらい場所については、個別に検討していきます。

#### 【5 暮らしの衛生推進事業】

斉藤議員：子どもを対象とした食品衛生知識の普及啓発を新規で8月に実施とあるが、どのような内容か。

古家生活衛生課長：8月号の広報よこはまのこども新聞をはじめとして、小学校とタイアップをし、手洗いの方法や、手が洗えているかどうかを確認するアイテムを活用した啓発などを考えています。

斉藤議員：ペット同行避難に関する市民啓発講演会については、継続してやっていただいて非常によいと思う。コロナ禍だが、防災の意識も高められることから、引き続きお願いしたい。

#### 【8 あんしん子育てネットワーク事業】

斉藤議員：ママのハートバランス事業について、対面式で子供をお預かりし、少しほっとする時間を生み出しているという趣旨は分かるが、このような時代なので、オンライン等を活用した子育ての悩み相談をしてほしい。子育て支援拠点「いっぼ」でやっていることも伺っているが、オンラインでも相談できるという広報や、オンラインでの相談に積極的に応じていただきたい。

五十川こども家庭支援課長：「いっぼ」でオンライン相談等も行っています。実際のところ、あまりオンラインでの相談はありませんが、プレパパ・プレママ教室など他の事業では、現在集合形式でやっているものをオンライン方式でできないか、検討を進めています。

斉藤議員：「いっぼ」に任せているというスタンスではなく、区役所も主体的に対応していただきたい。

#### 【14 花と緑あふれるふるさと緑区事業】

鴨志田議員：街路樹の補植について、霧が丘長津田線とあるが、鶴見川の河川敷の桜も大分古くなってきている。優先順位はあると思うが、

補植の順番をどう考えているのか。

川口緑土木事務所副所長：昨年度に山下長津田線や霧が丘長津田線など14の路線を調査し、実態を確認して補植等を3か年で進めていく予定になっています。鶴見川やその周辺は調査の対象に入っていないので、改めて現地を確認等しながら検討していきたいと思っています。

#### 【16 みどり！まるごと応援事業】

斉藤議員：ウォーキングは、コロナ禍でも方法次第で開催でき、区民の皆さまも参加しやすいと思うので、例えば緑区遺産を回るウォーキングのイベントなど色々と仕掛けてもよいと思う。

#### 【17 みどり地域まちづくり推進事業】

斉藤議員：山下地域交流センター活用等検討について、文化庁などとも相談しながら保全に向けて動いていると思うが、最近の進捗はどうか。

山下区政推進課長：山下地域交流センターについては、今年度、区局連携事業として市民局にも予算計上されており、実際に耐震補強がどこまでできるのかなどを検討しています。文化財登録に向けても手続を進めていますので、進捗がありましたら報告させていただきます。

斉藤議員：緑区の誇りある遺産として、しっかりと保全してほしい。

#### 【23 3R推進事業】

今野議員：鴨池大橋の下の交差点にあるごみ置場がいつも散乱しており、各所から言われているが一向に改善が見られない。人通りが非常に多い所なので、町内会などと連携しながら対策をお願いしたいと思うが、その関係での認識や情報を教えていただきたい。

栃澤資源化推進担当課長：鴨池大橋の下の収集場所について、収集事務所としても様々な啓発を行い、看板の貼付等で対応しているところです。環境事業推進員という町内会の委員がいますので、改めて連携をし、ごみを出している方を確認した上で、啓発の冊子等を配付するなど改善に努めてまいります。

#### 【25 緑区商店街振興事業】

斉藤議員：商店街振興について、人を集めると感染拡大の恐れがあるとい

	<p>うことで、商店街ごとに意見が分かれているようだが、それでも町に賑わいを取り戻すウィズコロナ、アフターコロナが大事なので、ぜひうまく調整していただきたい。</p> <p><b>【その他】</b></p> <p>鴨志田議員：横浜市の公式LINEで道路の補修等が報告・連絡できるというサービスが始まったが、緑区の状況はどうか。</p> <p>川口緑土木事務所副所長：先月は20件ほどLINEで寄せられています。主に舗装のひび割れや樹木等が茂って視界が悪いといった内容です。</p> <p>鴨志田議員：相談20件に対し、どれだけ対応できたのか。</p> <p>川口緑土木事務所副所長：正式な数は押さえていませんが、それぞれ受けた次の日には職員が現地を確認し、対応の有無を判断し、直営又は施工業者をお願いして対応しています。</p>
備 考	